

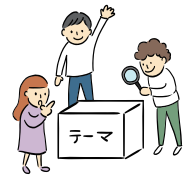
Kii.co

Annual Report 2024

2024年度 関内イノベーション イニシアティブ株式会社 アニュアルレポート

2025年3月発行

2024年度は、代表交代による新たな体制への移行、マスマス移転、benten103開設などが重なった。公民連携や市民協働をめざした事業委託に取り組みながら、スタッフのスキル向上、チームビルディングの強化、専門性を広げるため組織外との協業に取り組んだ。



まちづくり・地域活性化

講座ほか 24年5月～25年3月

2年目となる、よこはま ポジティブエイジング

〔横浜市健康福祉局、モデル地区は西区・金沢区・都筑区〕

シニア世代の社会参加促進を目的に、講座の実施、個別相談対応、シニア世代と地域の企業・団体での地域貢献活動とのマッチングを試行。
趣味や仕事とは異なる新たな仲間づくり、シニアと地域の各主体との引合せによる成果が少しずつ形になりつつあります。

<https://yokohamapositive.localinfo.jp/>



横浜市開港記念会館でのキックオフイベント
200名を超えるお申し込みがありました。



ワークショップ・実証実験 24年4月～25年3月

脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業

〔横浜市温暖化対策統括本部、あいおいニッセイ同和損保、3年目〕

市民に向けた脱炭素意識の醸成・行動変容を目的に、商店街や企業、大学、地域拠点との連携(21か所)による衣料品回収の実証実験を行い、環境への貢献度をデータで公開した。加えて、ハーチ(株)の協力を得て、脱炭素ダイアログ、YOKOHAMA CIRCULAR DESIGN MUSEUMの巡回展示を実施(市内7カ所)し、好評を得た。

WEBサイト「歩みだそう、未来のまちへ」 <https://www.cn-lifestyle.info/>



コンサルティング 23年度～

寺家ふるさと村農ある公共空間構想業務委託

〔横浜市環境創造局〕

3年度事業の2年め。寺家みらいプロジェクトとして、市民向けのアイデア創発ワークショップ、採択プロジェクトの伴走支援、勉強会を開催。横浜市、(株)オープン・エー(公共R不動産)とともに、エリアコンセプトブック案の作成に取り組んだ。

<https://jikemirai.info/>



施設運営・コミュニティ醸成 24年5月～

KANMATCHプロジェクト/ 「まちのラウンジbenten103」の運営

〔神奈川県住宅供給公社〕

公社創業の地に新設された賃貸住宅「フロール横濱関内」の1階部分で、まちのラウンジ「benten103」を神奈川県住宅供給公社と協働事業として開設。学生団体DIVEとの連携。

<https://kanmatch.yokohama/>



コンサルティング・情報発信

YOKOHAMA FOOD LOVERs プロジェクト〔自主事業〕

2021年開設のヒューマングルメサイト「YOKOHAMA FOOD LOVERs」。個性豊かなライターによる取材記事が約60件となり、サイトをリニューアルした。関内飲食店マップ<第2弾>は35件掲載し内容更新した。OZマガジン横浜特集(4・5月号)での、あらい編集長とのタイアップ記事は3年連続となった。

<https://yokohamafoodlovers.jp/>



ヒューマングルメサイト YOKOHAMA FOOD LOVERs



調査 24年6月～25年3月

次世代郊外まちづくり 「カーボンポジティブなまちづくり (仮称)に関する業務委託」

〔横浜市建築局、東急(株)〕



イベント 3月20日

まちづくりプレイヤーズ2025

〔(株)エンジョイワークスとの共催〕

ソーシャルビジネス・地域起業のノウハウ提供と事務局運営

講座 24年4月～25年3月

第3期佐原あしたのプロジェクト

〔(株)エヌアイディ、佐原信用金庫〕

歴史的な町並みが残る千葉県佐原を舞台に、地域の様々な課題に対して、伝統や地域資源、同じ志をもつ仲間たちと一緒に、地域を元気にするプランを共創する実践型プログラム。

<https://sawara-no-ashita-pjt.localinfo.jp/>



キャラクター
マコちゃん

講座 25年1～2月(全5回)

マスマスカレッジ・好きから始める まちかどライター講座〔自主事業〕

新規 | 自分が好きな街やお店の魅力を伝える、初心者向けのライター。現場で活躍する編集のプロを講師に、編集・撮影の基本を学び、街歩きと取材体験も。

<https://massmass.jp/project/machikadowriter2025/>

通期 通年

マスマスカレッジ・第11期実践創業講座オンデマンド

〔自主事業〕 <https://massmass.jp/project/jisensogyo2024/>

リニューアル | 4カテゴリー、全26動画で内容充実、いつでもどこでも自分のタイミングで。学び直しや事業の見直しにも最適。

講座・伴走支援 24年4月～25年3月

ミライカナエル活動サポート事業伴走支援 プログラム〔藤沢市市民自治推進課〕

藤沢市内の地域活動団体に対する講義および相談会で講師を担当。

記念誌の発行

『あゆみー創業からこれまでと、これから 関内イノベーションイニシアティブ | mass×mass関内フューチャーセンター 2010-2024』

代表交代を機に、会社設立から14年間のあゆみと未来への取り組みをまとめた。これまでお世話になった皆様へのインタビューも掲載。



事業者応援メニュー

クラウドファンディング

<https://camp-fire.jp/curations/massmass>

読書家に贈るジュエリー眼鏡、BOOKART パリへ! 小さなブランドの大きな挑戦
Yuki from BOOKART 調達額 1,308,000円

歴史と文化を感じる横浜日本大通りに、センス溢れるパン屋と豊かな風景をつくりたい!
ペイカリー三三 調達額 2,162,500円

これまでの実績	
支援プロジェクト数	43件
支援総額	71,194,350円
支援者数	4,504名

事業連携



一般財団法人社会価値共創ファーム (略称:SOWT)

共催・業務委託などにより、2つの組織の連携を試行した。新しい働き方をデザインするトークイベント「nexus career」、ケースを使用したソーシャルビジネスモデル理解促進、クラウドファンディング・業務ITツールの活用促進など。



<https://sowt.foundation/>



講演・メディア実績 執行役員 治田友香

オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館
企業価値の向上につながる地域共生活動とは
～横浜の産官学連携事例～

神奈川新聞社 実践型戦略研修②
『地域企業による価値共創とは』

YNUアーバニストスクールプログラム
中間発表会・最終発表会コメンテーター

SDGs QUESTみらい甲子園
神奈川県大会実行委員会 実行委員
高校生によるアクションアイデアプランの選考

記事掲載

朝日新聞夕刊 2025年1月18日
(いま聞く)横浜の起業支援「マスマス」創設
ソーシャルビジネス育てるには

執筆

月刊「事業構想」2025年1月号
人口減少時代のGX | 魅力的な脱炭素ライフ
スタイル浸透へ向けた横浜市での取り組み

公職

横浜市まちづくりコーディネーター
〔パレット境木ベースまち普請事業に採択〕